

減災型地域コミュニティマネジメントのための  
戦略的リスクコミュニケーション技法に関する研究  
Study on the Strategic Risk Communication Method  
for Disaster Reduction Oriented Community Management

○ 羅貞一・岡田憲夫・竹内裕希子

○Jong-Il NA ,Norio OKADA ,Yukiko TAKEUCHI

This paper addresses the need for participatory risk communication methods for disaster reduction-oriented community management. A method called "4-menkaigi (Square Table Conference) System" is presented for this purpose. The method is designed to consist of "guidance", "SWOT Analysis", "4-menkaigi Side-by-Side Action Plan Development", "Debates between Sides", and "Collective Action Development". A case study in Kyoto City has shown its effectiveness and usefulness as well as further improvements to be made.

## 1. はじめに

阪神淡路大震災以降、防災の基本原則として掲げようになった公助・共助・自助のパートナーシップに基づく災害リスクマネジメントにおいては、災害直後は、公共機関が中心になるのではなく、住民個人、世帯自身ならびに近隣地域コミュニティの助け合いがもっとも役に立つことが指摘されている。

しかし、そのような助け合いの地域力を日ごろから高めておくために、災害の特殊性や参加型特性を十分に生かした住民参加型のワークショップが有効である。そこで、戦略的災害リスクコミュニケーション技法の開発を通じて有効なワークショップの方式を提案する。

なお本研究では戦略的な災害リスクコミュニケーションを、「災害リスクやその潜在的なリスクに関して、個人、団体、組織間で情報や意見の交換を双方向で繰り返し行い、これらの当事者（ステークホルダー）が協働的に行なえるように、共同で(集合的行動)の実現可能性(実戦適応可能性)を最大限に高めるようにするプロセス技術」と定義する。

## 2. 防災計画用四面会議システムモデルの開発

本研究では戦略的リスクコミュニケーション技法としては四面会議システムを用いる。鳥取県智頭町「日本 1/0 村おこし運動（以下ゼロイチ）」は地域活性化の成功事例として知られている。その中で早瀬部落のゼロイチ（1997-2006）が計画、実行された。このうち計画された 121 項目中 80 項目（66%）が、実現された。この時、コミュニケー

ション技法として四面会議システムが活用された。このコミュニケーション技法は、全体の計画づくりを 4 つの行動要素に分割し、これを 4 面の役割として配置する点が特徴である。その上で 4 つの行動要素を全体として立体的に組み合わせ、斉合性を図るために対面同士のディベートを行なう。

これを、減災を目的にしたコミュニティマネジメントとして、ワークショップ形式で有効に行なうためには、集中的に行う実施時間を 3 時間程度に制限すること、ならびに 実施方法のマニュアルの工夫が必要であると考えた。

防災計画用四面会議システムとして説明&分類、SWOT 診断シート、四面会議、Debate、評価&総合の 5 つの要素で構成することをした。その際、計画学 科的 視 点 から 以 下 の 点 に 留 意 し た。  
( )PDCA(CAPD)サイクルの組み込み、( )地域に対する現状診断 (C) である SWOT 分析からの開始、( )問題意識を踏まえた地域に見合う体制や未来のビジョンの共有 (A) ( )対策・計画案を四面会議図で計画 (P) ( )計画案を基に擬似的にシミュレーションの形で実行 (D) する。このためディベートで相手や自分の行動計画案に対する実現性を相互検証する。このような過程のなかで PDCA(CAPD)サイクルが働くように工夫されている。

2008 年 1 月 26 日に京都市中京区の朱雀第八学区の自主防災会（17 人、以下朱八防災会）で「安全・安心マップづくり」をテーマにした 1 年間の行動計画案に対する四面会議が行なわれた（参加者 8 人）。委細は講演時に説明する。